

**平成24年度
社団法人新潟県臨床検査技師会
第1回通常総会議案書**

期 日 平成24年5月19日（土）15時40分 開会
会 場 新潟ユニゾンプラザ 大研修室

総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 来賓紹介
4. 議長選出
5. 議長挨拶
6. 総会役員選出
 - 1) 資格審査委員選出
 - 2) 書記任命
 - 3) 議事録署名人選出
7. 資格審査報告
8. 議事
 - 1) 第1号議案 平成23年度事業報告について
 - 2) 第2号議案 平成23年度収支決算報告について
 - 3) 第3号議案 平成23年度監査報告について
 - 4) 第4号議案 支部提出議案について
 - 5) 第5号議案 日臨技定期総会提出議案について
9. その他
10. 総会役員解任および書記解任
11. 議長挨拶
12. 閉会の辞

平成23年度事業報告

平成23年度事業報告について

昨年3月11日に発生した東日本大震災から漸く1年が経過した。しかし、復興までの道程ははるか遠く、がれき処理の受入自治体が少しずつ出てきて大変喜ばしいことではあるが、いかにもスピード感に欠けると言わざるを得ない。原発被害が大きい福島県浜通り地区では除染も進まず、住民の避難、二重生活世帯も少なくない。長期化すればするほど、不本意ながら住み慣れた「ふるさと」を捨てざるをえなくなる。それを救える政治に期待するところが大きいですが、ご承知のとおり増税法案、原発の再開に汲々としていて、震災の際に世界から賞賛を受けた自助、共助の被災者の姿に、残念ながら公助が追いついて行っていない。

過去2回の震災を経験した当技師会としては、見舞金や義援金の他、福島県からの県内避難者への検診支援、岩手県で行なわれた被災者検診への支援チームの派遣等、多くの会員からご協力をいただいたことに改めて感謝したい。しかし、被害があまりにも甚大なため、今後も微力ではあるが出来る支援を継続して実施しなければいけない。

この様な状況ではあるが、昨年度当技師会は各支部や各検査研究部門と協力、連携をとりながら、学術部、広報部、総務部を中心に懸命に活動してきた。

昨年5月に実施した第5回臨床検査セミナーでは、公開講演として新潟大学の岡田教授より退官記念講演と原発事故に関連した放射線のお話を新潟大学放射線部の羽田野先生からいただいた。特に放射線の講演はその後多くの他団体研修会でも取り上げられ、その先駆けとなった。

10月23日に新潟市で開催した第87回新潟県臨床検査学会は、新潟支部、佐渡支部合同で企画し、極めて盛会に終了した。また、検査研究部門の活動も各分野長の尽力により引き続き活発に実施された。

公益事業部門では、「ピンクリボンホリデー2011」への参画の他、「すこやかとしびまつり」「糖尿病を知るつどい」等々各支部で活発に事業展開が図られた。しかし、恒例化していた「エイズ予防キャンペーン」は、日臨技の方針転換があり直前で中止となったので、今年度は企画を練り直し実施したい。

広報部門ではホームページが委員の努力により適宜更新されて、会員からのアクセスも増加した。会誌についても順次リニューアル、新企画が実施され、なお一層会員への情報サービスが活性化されることを期待する。

また、災害時支援対策マニュアルのシミュレーションが実施され、支援ネットワークも80名を越える会員から参加いただいている。更にこの支援システムが東北地区にも波及しようとしている。

法人移行については、定款変更が総会で承認されたことを受けて、今後は関連諸規定の見直しを実施して次年度中に移行を完了したい。

第63回日本医学検査学会は、すでにワーキンググループを立ち上げ、企画準備作業を本格化する。

その他詳細は、各部門から報告するが、事業遂行を担当した各理事、各委員の献身的なご努力に改めて敬意を表したい。しかし、まだ様々な懸案事項を抱えており、多様化する会員の要望、負託に十分応えられたかを検証しながら次年度の課題とする。

以上、事業概要として報告する。

【総務部】

1. 通常総会の開催

平成23年5月14日（土）ユニゾンプラザ（4F大会議室）において平成23年度第1回通常総会を開催し、平成22年度事業報告、同決算報告並びに監査報告を行った。

これらについて、特に質疑はなく、拍手で承認された。

平成24年3月10日（土）、各支部持ち回りである予算総会を中越支部で開催し、平成24年度事業計画案、同予算案を提案し、満場一致で承認された。また、定款変更についても承認された。

2. 会務の執行体制

1) 職務分担

平成23年度は新役員により会務の執行にあたり、学術部、広報部、総務部の3部門に理事を配置し、各部門との連携を図りながら会務を執行した。

2) 事務局体制

年々、事務局の業務量が多くなる中で、阿部事務員の努力により諸会議の準備や日臨技・東臨技および会員との連絡・調整役を担い、又、JAMTIS運用による会員情報登録および変更作業を迅速に処理され、新臨技会活動になくはならない重要な役割を果たしている。

3. 諸会議の開催

1) 理事会 第1回平成23年06月11日（新潟県公社総合ビル3F会議室）

第2回平成23年09月10日（新潟県公社総合ビル3F会議室）

第3回平成23年10月23日（新潟テルサ）

第4回平成23年12月10日（新潟県公社総合ビル3F会議室）

第5回平成24年02月11日（新潟県公社総合ビル3F会議室）

第6回平成24年03月10日（パストラル長岡）

2) 常任理事会

定例常任理事会は従来どおり原則として毎月第2土曜日に開催し、平成23年度は3回開催した。

3) 三役会議

急を要する案件については、メール等を利用し協議を行った為、特に三役会議は開催しなかった。

4) 各種委員会の開催

(1) 会誌編集委員会

新臨技会誌（季刊発行）第279号から第282号の編集業務のため、4回開催した。

(2) ホームページ委員会

会員への早急な情報伝達手段としてのホームページを積極的に運用するべく委員会を開催し、内容やレイアウト等の検討を行い会員から親しまれるホームページをめざした。

(3) 検査研究部門委員会

各検査研究分野の活動計画並びに運営等を協議するため1回開催した。

(4) 生涯教育研修委員会

生涯教育委員の業務も定着してきたことから、理事会や各支部生涯教育委員と連絡をとりながら研修会予定および参加者の登録を行った。

(5) 精度管理委員会

精度管理調査の事業計画、集計処理状況把握、検討会企画の協議のため6回開催した。

(6) 表彰委員会

各種表彰の対象者選考のため1回開催した。

4. 組織対策

1) 入会対策

前年度同様、各支部役員および各施設連絡責任者の協力により入会を勧めてきた。

本年度の新入会および再入会の会員は38名であった。会員数の減少傾向に歯止めがかかったが、今後も予断を許さない状況にある。なお、本会の正会員総数は1,206名（平成24年3月現在）である。

また、技師連盟入会者は12月現在48名であり、臨床検査を取り巻く環境が厳しくなっている中で、検査技師の社会的地位向上のためにも更に多くの会員の入会をお願いしたい。

2) 各支部との連携強化

各支部ともその地域性を生かした独自の活動が浸透し、年々活発化している。支部総会等に役員を派遣し、連携強化を図った。

5. 地域保健医療活動および公益事業

1) 一般公開としての第5回臨床検査セミナーを開催（5月14日）

公開講演として新潟大学の岡田教授より退官記念講演、新潟大学の羽田野先生より放射能に関わる講演をいただいた。また、厚生連魚沼病院の坂西技師、厚生連村上総合病院の中川技師より災害時の支援や対策について講演をいただいた。市民を対象とした簡易検査では、肺年齢（23名）およびストレス度測定（29名）を実施した。

2) にいがた・骨髄バンクを育てる会、アイバンクへ賛助会員として参画

3) 父の日企画「パパの健康チェック」へ中越支部が共催団体として参画（6月19日）

4) 中越沖地震エコノミー症候群フォローアップ検診に協力（柏崎市8月6・7日）

5) すこやかとしびまつりへ中越支部が共催団体として参画（10月1・2日）

6) 糖尿病を知る集いへ中越支部が共催団体として参画（10月1日）

7) 中越地震エコノミー症候群フォローアップ検査に協力（小千谷市10月15・16日）

8) ピンクリボンホリデーへ新潟県臨床検査技師会として参画（10月16日）

9) 関東甲信越糖尿病セミナーへ新潟支部がボランティアとして参画（11月6日）

10) 中越地震エコノミー症候群フォローアップ検査に協力（十日町市11月12・13日）

6. 無料職業紹介事業

厳しい就職状況ではあるが、臨時職員の求人が募集されている。

求職登録者数 0名 求人数 9施設

7. 災害支援

東日本大震災後の被災者の健康管理業務支援の依頼があり、9月23日～25日の日程で岩手県へ災害対策チームを派遣した。また、新潟県主催の県内各地避難所に避難している被災者を対象に、エコノミークラス症候群検診に協力した。

9月17日にネットワークによる災害時支援訓練のシミュレーションを実施した。

8. 表彰関係（敬称略）

1) 第29回篠川至賞（篠川至賞選考委員会を経て平成23年5月14日通常総会にて表彰）

特別功労賞 高橋 英 行（新潟支部）

特別功労賞 山口 勇 司（中越支部）

2) 平成23年度会長表彰（平成23年5月14日通常総会にて表彰）

(1) 特別功労者表彰

横山 久美子（下越支部）

(2) 会長表彰

伊藤 耐子（新潟支部）

小田辺 なお子（新潟支部）

(3) 永年会員功労者表彰

該当者36名

3) 第52回東北医学検査学会表彰(平成23年10月15日学会式典にて表彰)

功労賞 伊藤 耐子(新潟支部)

功労賞 小田辺 なお子(新潟支部)

4) 平成21年度生涯教育履修表彰(平成23年5月14日通常総会にて表彰)

奨励賞 坂西 清(厚生連魚沼病院) 650点

本間 幸子(松浜病院) 490点

小林 清子(新潟大学医歯学総合病院) 480点

新人賞 佐藤 卓(厚生連新潟医療センター) 470点

【学術部】

1. 学会

第87回新潟県臨床検査学会

テーマ 意欲と実践 ～自らの可能性を求めて～

日時 2011年10月23日(日)

場所 新潟テルサ2F/3F

参加者 会員233名, 賛助会員44名, 学生3名, 非会員2名

時間	2Fロビー 受付	第1会場 特別会議室 定員62名	第2会場 中会議室 定員62名	第3会場 大会議室 定員150名	第4会場 研修室(1) 定員54名	第5会場 研修室(2) 定員54名	
9:30~10:00	受付 9:30~						
10:00~11:00		一般演題 (病理・細菌) 10:20~11:20	一般演題 (輸血・血液) 10:00~11:00	一般演題 (生理) 10:00~10:40	一般演題 (免疫・血清・ 臨床化学・遺 伝子・染色体) 10:00~10:50		
11:00~11:30		H22年度 精度管理 検討会(細菌)		レクチャーⅠ (生理) 10:50~11:50			
11:30~12:00							
12:00~13:00		ランチョンA シーメンス	ランチョンB アークレイ	ランチョンC 日本光電 フクダ電子	ランチョンD シスメックス		ランチョンE 和光純薬工業
13:10~14:10		レクチャーⅡ アボット・ジャパン	レクチャーⅢ 积水メディカル	レクチャーⅣ 生理検査業の 活性化と人材 育成への取り 組み	レクチャーⅤ オーソクリニ カル・ダイア グノスティッ クス		レクチャーⅥ 栄研
14:20~14:50		レクチャーⅦ (細菌) 14:30~16:00		新潟支部 講演会 災害支援対策 について			
15:00~16:30				H22年度 精度管理 検討会 (細菌以外)			

レクチャー

10:50~11:50 第3会場(3階 大会議室)

レクチャーⅠ 「心電図とイオンチャネル病」

講師 新潟大学医学部保健学科准教授 池主 雅臣 先生

13:10~14:10

レクチャーⅡ 第1会場(2階 特別会議室)

「イムノアッセイの非特異反応」

講師 アボットジャパン(株) 学術情報部 青木 和雄 先生

レクチャーⅢ 第2会場(2階 中会議室)

【糖尿病検査マーカーと治療薬の最近の話題】

(HbA1c国際標準化, 献血者糖尿病検査にGA)

講師 積水メディカル株式会社カスタマーサポートセンター学術東日本グループ 市原 文雄 先生

レクチャーⅣ 第3会場(3階 大会議室)

生理検査業務の活性化と人材育成への取り組み

講師 財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院臨床検査部生理検査科 山寺 幸雄 先生

レクチャーⅤ 第4会場(3階 研修室1)

輸血検査の精度管理について

講師 IHテクニカルサービスセンター センター長 古杉 光明 先生

レクチャーⅥ 第5会場(3階 研修室2)

LAMP法を用いた結核菌群検出キットの紹介

講師 栄研化学株式会社営業統括部・LAMP推進本部 上野 潤二 先生

14:30~16:00

レクチャーⅦ 第1会場(2階 特別会議室)

「胸部X線写真の見方」

講師 長岡赤十字病院 呼吸器内科部長 佐藤 和弘 先生

平成22年度精度管理検討会

11:30~12:00 第1会場(2階 特別会議室)(細菌のみ)

15:00~16:30 第3会場(3階 大会議室)(細菌以外)

新潟支部講演会

14:20~14:50 (3階 大会議室)

「災害支援対策について」

講師 厚生連魚沼病院 坂西 清 技師

ランチョンセミナー 12:00~13:00

ランチョンセミナーA 第1会場(2階 特別会議室)

イムノアッセイの新しい原理 - LOCI法について -

講師 シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス(株)

免疫生化学プロダクトマネジメントグループ プロダクトマネージャー 伊藤 俊幸 先生

ランチョンセミナーB 第2会場(2階 中会議室)

尿定性・沈渣検査における運用事例 AU4050のメーカーPR

講師 公立藤岡総合病院 柴崎 洋一 先生

ランチョンセミナーC 第3会場(3階 大会議室)

生理検査のシステム化

講師 日本光電北関東株式会社 堀 慎治 先生
フクダ電子株式会社 片岡 直也 先生

ランチョンセミナーD 第4会場(3階 研修室1)

新型全自動血液凝固測定装置「CS-5100」の紹介及び凝固の最近の話題(直接トロピン阻害剤等)

講師 シスメックス株式会社 東京支店 学術情報課 岩崎 陽介 先生

ランチョンセミナーE 第5会場(3階 研修室2)

臨床検査で用いる測定法のバリデーション

講師 和光純薬工業株式会社臨床検査薬営業本部学術部 長尾 健次 先生

一般演題

第1会場(2階 特別会議室) 10:30~11:20

(病理) 座長 大谷内 健二 新潟大学大学院医歯学総合研究科細胞機能講座分子細胞病理学分野

No.1 Cryofilmによる凍結迅速組織標本の改善 小池 敦 県立がんセンター新潟病院

No.2 病理切片の最適な伸展条件のための基礎的検討 長谷川秀浩 厚生連長岡中央総合病院

(細菌) 座長 加茂 綾子 厚生連三条総合病院

No.3 腸管出血性大腸菌感染症の2症例 麻生さくら 新潟市民病院

—クロモアガーTM STEC 使用経験—

No.4 ギラン・バレー症候群(GBS)患者の便培養から *Campylobacter jejuni* を検出した一例

田端 篤 信楽園病院

No.5 レンサ球菌用薬剤感受性測定パネル MICroFAST 5Jにおける自動判定法の評価

堀川 良則 新潟大学医歯学総合病院

第2会場(2階 中会議室) 10:00~10:50

(輸血) 座長 上村 正巳 新潟大学医歯学総合病院

No.6 ABO血液型異型造血幹細胞移植後のキメリズム算定方法の検討

~結果をよりわかりやすく記録・報告するために~ 古谷江梨子 新潟大学医歯学総合病院

No.7 輸血後 HEV 感染が疑われた一症例 小林 健太 県立がんセンター新潟病院

No.8 ABOminor mismatch 造血幹細胞移植後の血液型変化3症例

A型レシピエントにO型ドナーの造血幹細胞を移植した3症例の血液型変化と臨床経過

湯本 千夏 県立がんセンター新潟病院

(血液) 座長 水野 祐子 県立吉田病院

No.9 高力価の第Ⅷ因子インヒビターを生じた後天性血友病の1例

伊藤 京子 新潟市民病院

No.10 全自動血液凝固測定装置 COAGTORON350の検査方法と臨床との連携について

小南真由美 新潟市民病院

第3会場（3階 大会議室）10：00～10：40

（生理） 座長 中川 友也 厚生連村上総合病院

- | | | | |
|-------|--|-------|----------------------|
| No.11 | 県内施設における頸動脈エコー検査法の現状
－頸動脈エコー検査に関するアンケート集計結果【第1報】－ | 小林 清子 | 新潟県臨床検査技師会
生理機能部門 |
| No.12 | 心臓超音波検査における測定部位の調査 | 中澤 光夫 | 県立小出病院 |
| No.13 | 予測式の違いによる肺拡散能力（DLco）の結果解釈への影響評価 | 田中 利佳 | 新潟大学医歯学総合病院 |
| No.14 | 心電図で特徴的变化を認めず心エコーで指摘し得た AMI の症例 | 若林 星華 | 信楽園病院 |

第4会場（3階 研修室1）10：00～10：40

（免疫・血清）（臨床化学）（遺伝子・染色体）

座長 鈴木 英明 北里大学保健衛生専門学校

- | | | | |
|-------|---------------------------------------|-------|--------------|
| No.15 | 当院におけるプロカルトニン測定の意義 | 丸山佐和子 | 県立がんセンター新潟病院 |
| No.16 | 異好抗体による PCT 定性偽陽性の一症例 | 坂西 清 | 厚生連魚沼病院 |
| No.17 | 当院で検出された異常ヘモグロビン症例
～糸魚川地域でみられた症例群～ | 堀田 朝美 | 厚生連糸魚川総合病院 |
| No.18 | サイクリングプローブ法による EGFR 遺伝子変異の検出 | 芳賀 博子 | 県立がんセンター新潟病院 |

2. 検査研究部門

組織は6部門、13分野で構成され運営が行われた。平成23年度は部門員の任期更新年であった。3名の新任部門長が就任し、それぞれ生物化学は渡邊香奈子、感染制御は星周一郎、移植検査は上村正巳が担当になった。新任の分野長には6名は就任し、臨床化学は伊藤正行、遺伝子・染色体は渡邊香奈子、細胞は高橋正和、一般検査は小野篤史、微生物は星周一郎、輸血・移植は上村正巳が就任しスタートした。検査研究部門が主催した新臨技研修会は合計25回開催され、参加人数は会員は1,045名、非会員は98名、合計数は1,143名であった。前年度に比べ研修会回数は1.3倍、参加者は1.08倍へと共に増加した。生理検査部門の生体画像分野と生体機能分野、一般検査分野、血液検査分野、細胞分野、輸血・移植分野は実技実習を積極的に行い、内容もいくつかのレベルを用意し、年度初期の基礎編や認定技師挑戦スキルアップ、開催会場の分散化、ガイドランの周知など会員に対するきめ細かな研修会形式は大変好評であった。大勢の新任部門長の就任、実習形式の積極導入、積極的なアイデアなどが目立った活動年度であった。

東北臨床検査技師会では検査総合管理部門東北地区研修会を管理運営分野長の山崎恒が担当し開催した。

1) 新潟県臨床検査技師会の研修会

研究分野	開催日	生涯教育点数	参加人数		研修会内容
			会員	非会員	
臨床化学	平成23年 11月19日	専門 20	41	0	<p>1) いまさら聞けないこんな事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中性脂肪の測定試薬で乳びの影響をうけない試薬ってどんな試薬 信楽園病院 富田弘子 ・教科書にCKは溶血の影響を受けるとあったは本当か？ 県立新発田病院 加藤久美子 ・BNPは血漿で測定しNT-ProBNPは血清で測定できるのはなぜか 新潟県労働衛生医学協会臨床検査部 玉橋敦子 <p>2) RCPC</p> <p>出題者：新潟県労働衛生医学協会 加藤公則 パネラー：新潟大学医歯学総合病院 柿崎隆紀 済生会新潟第二病院 田村大志</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院 (生物試料分析科学会甲信越支部新潟分科会共催)</p>
	平成24年 1月7日	専門 20	26	11	<p>1) 原発事故による放射能と人体への影響 ～臨床検査技師としての基礎知識～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射能と放射線 新潟大学自然科学系 RI センター長 工藤久昭 ・放射線の人体に与える影響 新潟大学医学部保健学科 高橋俊博 <p>2) 記念講演</p> <p>無駄な医療をなくしたい！ —VLDL 中性脂肪を測る意味 新潟大学大学院医歯学総合研究科 岡田正彦</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院 (日本臨床化学会甲信越支部新潟分科会共催)</p>
免疫血清	平成23年 11月26日	専門 20	20	5	<p>1) 教科書をもう一度学ぶ～生体内感染防御反応の基礎～ 北里大学保健衛生専門学校 鈴木英明</p> <p>2) 感染症の市場・検査技師の問題点・検査・原理・トピックス —ウイルス感染症を中心として— 北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所 和山行正</p> <p>3) HBsAg 定量に関する最近の話題 シスメックス (株) 角田浩一</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院</p>

遺伝子	平成23年 11月26日	専門 20	29	20	<p>1) 分子標的薬に対する検査の役割 (乳癌, 胃がん, 肺がん, 大腸癌) アボットジャパン (株) 平岡学</p> <p>2) エピジェネティック異常とその診断応用 国立がん研究センター研究所エピゲノム解析分野 浅田潔</p> <p>3) HPV タイピング検査の臨床的意義 積水メディカル (株) 検査事業部門 佐藤宰 会場: 新潟大学医学部医学科</p>
生理機能 検査部門	平成23年 5月22日	専門 20	63	4	<p>初級者セミナー</p> <p>1) 生理検査的レベルアップガイダンス 立川総合病院 山崎まゆみ</p> <p>2) 脳神経伝導検査/脳波 (株) 日本光電工業 坂本真一郎</p> <p>3) 呼吸機能検査 (株) フクダ産業 石堂正晃</p> <p>4) 心電図検査 厚生連新潟医療センター 斎藤修 会場: 新潟大学医歯学総合病院</p>
	平成24年 3月4日	専門 20	41	0	<p>平成23年度日本臨床検査技師会サーベイ 生理検査「解答と解説」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心電図 新潟市民病院 佐藤梨沙 ・呼吸機能 済生会三条病院 桑原喜久男 ・脳波 国立病院機構西新潟中央病院 土屋邦子 ・超音波: 心臓・血管 厚生連新潟医療センター 斎藤修 ・超音波: 腹部・乳腺 労働衛生医学協会岩室健康増進センター 金子玲子 <p>会場: 新潟大学医学部</p>
生体機能 (生理機能検査部門)	平成23年 12月10日	専門 20	58	2	<p>神経生理セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神経伝導検査/講義および実技講習 日本光電工業 (株) 営業本部 宮原隆彦 <p>会場: 立川メディカルセンター 立川総合病院</p>

生体画像 (生理機能検査部門)	平成23年 8月27日 8月28日	専門 20	37	0	<p>超音波実技セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓超音波 基本断面の走査法, 装置の設定, 心機能計測法 など ・腹部超音波 基本断面の走査法, 装置の設定, など <p style="text-align: right;">分野員他</p> <p>新潟会場：平成23年8月27日 新潟大学医歯学総合病院 中越会場：平成23年8月28日 立川総合病院</p>
	平成23年 11月26・ 27日	専門 30	116	0	<p>超音波セミナー</p> <p>1) 腹部・表在臓器領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LiveDemo ①「腹部・体表臓器の計測の仕方」 国立病院機構埼玉病院 岩下浄明 群馬県立がんセンター病院 竹内浩司 国立病院機構東京医療センター 武山茂 ・「急性腹症①～上腹部症例～」 国立病院機構東京医療センター 武山茂 ・「急性腹症②～消化管症例その1～」 国立病院機構埼玉病院 岩下浄明 ・LiveDemo ②「消化管の見方～食道・胃・大腸～」 国立病院機構埼玉病院 岩下浄明 群馬県立がんセンター病院 竹内浩司 国立病院機構東京医療センター 武山茂 ・LiveDemo ③「腹部動脈の見方」 新潟大学医歯学総合病院 小林清子 ・「急性腹症③～下腹部症例～」 国立病院機構東京医療センター 武山茂 ・「急性腹症④～消化管症例その2～」 国立病院機構埼玉病院 岩下浄明 ・「体表超音波検査①」 ～乳腺腫瘍について（手軽な堅さの評価）～ 群馬県立がんセンター病院 竹内浩司 ・「体表超音波検査②」 ～甲状腺を中心とした頸部について～ 国立病院機構東京医療センター 武山茂

					<p>2) 心臓・血管領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超音波実技セミナー <ul style="list-style-type: none"> 腹部 <ul style="list-style-type: none"> 金子玲子, 八木恵子 心臓 <ul style="list-style-type: none"> 斉藤修, 桑原喜久男 頸動脈 <ul style="list-style-type: none"> 小林清子, 渡邊博昭 ・ I 「先天性心疾患」 <ul style="list-style-type: none"> 群馬県立心臓血管センター 戸出浩之 ・ II 「感染性心内膜炎」 <ul style="list-style-type: none"> 心臓血管研究所付属病院 種村正 ・ III 「術後心エコー検査のポイント」 <ul style="list-style-type: none"> 群馬県立心臓血管センター 岡庭裕貴 ・ IV 「壁運動の極意」 <ul style="list-style-type: none"> 群馬県立心臓血管センター 岡庭裕貴 ・ V 「房室ブロックと心エコー」 <ul style="list-style-type: none"> 心臓血管研究所付属病院 種村正 ・ VI心エコーQ & A・症例提示 <ul style="list-style-type: none"> 群馬県立心臓血管センター 戸出浩之 心臓血管研究所付属病院 種村正 群馬県立心臓血管センター 岡庭裕貴 ・「下肢静脈・下肢動脈超音波検査の基礎と実際 ～DVT, Varix, ASO 検査のコツと注意点～」 <ul style="list-style-type: none"> 埼玉医科大国際医療センター 山本哲也 <p>会場：NASPA ニューオータニ（セミナー・宿泊）</p>
	平成24年 1月22日	専門 20	37	0	<p>超音波検査士対策セミナー「特訓・超音波の基礎」</p> <p>東芝メディカルシステムズ（株） 浜田聡明</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院</p>
細胞	平成23年 11月19日	専門 20	41	15	<p>1) 液状化検体細胞診の概要とLBCPREPの性能</p> <p>武藤化学（株） 内藤雅嗣</p> <p>2) 液状化検体細胞診LBCPREPの婦人科細胞診への導入と経緯</p> <p>飯田市立病院検査科 北原新一</p> <p>3) LBCPREP 標本鏡検</p> <p>助言者：済生会新潟第二病院病理診断科 石原法子 立川総合病院病理科 小林寛</p> <p>会場：県立がんセンター新潟病院 (細胞検査士会合同)</p>

病理	平成23年 11月12日	専門 20	15	0	<p>1) 生検材料取り扱いに関するアンケート集計結果 新潟大学第二病理学教室 大谷内健二</p> <p>2) 分子標的治療薬と病理診断 —肺癌を中心に— ロシュ・ダイアグノスティクス (株) 棟近永子</p> <p>3) 非腫瘍性疾患における肺生検の意義；間質性肺炎を主体に 厚生連村上総合病院 呼吸器内科 朝川勝明</p> <p>4) 泌尿器科医は前立腺生検に求めるもの 新潟大学医歯学総合研究科腎泌尿器病態学分野 石崎文雄</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院</p>
一般検査	平成23年 7月10日	専門 20	93	7	<p>1) 尿沈渣検査法の改訂について（腎臓の解剖組織・腎機能について） 東京女子医科大学病院中央検査部 横山貴</p> <p>2) 尿定性検査と試験紙の精度管理 栄研化学 (株) 学術一部 鈴木正隆</p> <p>3) 尿沈渣と腎・泌尿器疾患について 東京女子医科大学病院 横山貴</p> <p>4) 自動血球分析装置による体腔液測定の有用性 シスメックス (株) プロダクト営業課 萩原朋子</p> <p>5) 体腔液（胸腹水）中の細胞をみてみよう～塗抹検査の基礎と考え方～ 順天堂大学医学部付属順天堂医院病理診断部 山里勝信</p> <p>会場：新潟大学医学部</p>
	平成23年 9月4日	専門 20	38	2	<p>1) 尿沈渣鏡検実習（血球類，上皮細胞類，円柱類 等） 分野員</p> <p>会場：新潟医療技術専門学校</p>
	平成23年 12月3日	専門 20	63	6	<p>1) 尿沈渣検査法2010に基づく鑑別法・報告法－異型細胞を中心に－ （財）癌研究会附属有明病院臨床検査第I部 八木靖二</p> <p>2) 尿中有形成成分分析装置 U-SCANNER II のご紹介 東洋紡績 (株) 診断システムグループ</p> <p>3) 尿定性検査関連 栄研化学 (株) 学術一部 鈴木正隆</p> <p>会場：新潟大学医学部</p>
	平成24年 2月4日	専門 20	41	4	<p>1) JCCLS GPI-P4について（赤血球形態を中心に） 東京大学医学部付属病院検査部 宿谷賢一</p> <p>2) 微量アルブミン測定とクリニテックノーバスについて シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス (株) 渡辺浩</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院</p>

血液	平成23年 7月9日	専門 20	39	1	1) 震災後の状況—東北大学病院からのメール— 県立吉田病院検査科 水野祐子 2) 凝固検査における異常症例について 県立がんセンター新潟病院検査科 梅田ひろ子 3) 凝固・線溶検査と疾患について (株)三菱化学メディエンス学術部 福士顕 会場：県立がんセンター新潟病院
	平成23年 11月6日	専門 20	40	7	1) 末梢血標本による鏡検実習および症例解説 分野員 会場：新潟医療技術専門学校 実習室
微生物	平成23年 11月12日	専門 20	45	0	1) 当院における腸管出血性大腸菌の検出状況 長岡赤十字病院検査課 星周一郎 2) 病原大腸菌の基礎 デンカ生研 (株) 3) スライドデスカッション 会場：長岡赤十字病院
疫学・ 公衆衛生	平成24年 1月14日	専門 20	38	9	1) 腸管出血性大腸菌検査用試薬について～クロモアは STECを中心に～ 関東化学(株)マイクロバイオ部 金子孝昌 2) 小児感染症とワクチンに関する最近の話題 新潟大学医歯学総合病院小児科特任助教 大石智洋 会場：新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」
輸血・移植	平成23年 6月25日	専門 20	47	2	1) 一般演題 2) 輸血前後の感染症検査の重要性について アボットジャパン(株)学術情報部 飯沼 一茂 3) HLA・HPAの基礎 ～臨床・検査との関係 バイオ・ラッド ラボラトリーズ(株)学術部 柿沼幸利 会場：新潟大学医学部
	平成23年 7月31日	専門 20	17	1	・Bコース：実技講習会（中級者以上の認定および技能維持 コース） 血液型，不規則抗体検査，抗体解離試験，クロスマッチ 等の実技 分野員と他の認定輸血検査技師 会場：新潟大学医歯学総合病院

平成23年 9月4日	専門 20	40	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ A コース：基礎実技（初心者，初級者レベルコース） 血液型，不規則抗体検査，クロスマッチを実施 ・ B コース：実技講習会（中級者以上の認定および技能維持コース） 血液型，不規則抗体検査，抗体解離試験，クロスマッチ等の実技 <p style="text-align: right;">分野員と他の認定輸血検査技師</p> <p>会場：北里大学保健衛生専門学院</p>
平成23年 12月11日	専門 20	20	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ A コース：基礎実技（初心者，初級者レベルコース） 血液型，不規則抗体検査，クロスマッチを実施 ・ B コース：実技講習会（中級者以上の認定および技能維持コース） 血液型，不規則抗体検査，抗体解離試験，クロスマッチ等の実技 <p style="text-align: right;">分野員と他の認定輸血検査技師</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院</p>

2) 東北臨床検査技師会の研修会

研究部門	開催日	参加人数	研修会内容
検査総合管理部門研修会	平成23年 11月19- 20日	36	<ol style="list-style-type: none"> 1) “検査”を取り巻く状況変化とその対応」 シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス（株）松尾久昭 2) 私は考える“求められる検査室，求められる技師”とは 3) 私はこれまで目指してきた事，そしてこれから ～若手技師からのメッセージ～ 厚生連中央総合病院 近藤善仁 4) よりスペシャリストになるために～認定技師としてのこれまで，そして，これから～ 新潟県立中央病院 吉楽恵 5) 健診にたずさわる技師に求められる事 社団法人新潟県労働医学協会臨床検査部 白井彰 6) 災害に技師として支援はできるのか～DMATをとおして～ 厚生連村上総合病院 中川友也 7) 総合討論：さらなる成長をめざして!? 8) フィッシュ哲学のすすめ～魅力的な職場環境にするために～ 立川総合病院総看護師長 鈴木美智子 9) 臨床検査室の果たすべき役割と技師として目指すもの 東海大学医学部付属病院臨床検査技術科長補佐 瀬戸享往 <p>会場：新潟大学医歯学総合病院</p>

3. 精度管理事業

新潟県から新潟県医師会への委託事業である本事業は、平成23年度で32回目を数えた。技師会としても積極的に当事業に協力し、集計、解析を含めた実務の中心的役割を果たすと共に、臨床検査の精度向上に努めた。

本事業を担当する精度管理委員会は昨年度から役員が大幅に変更したが、学術及び、関係分野の臨床化学検査、微生物検査さらに、血液検査（血球計数）実施のため血液検査分野から選出された若干名で構成された。委員会は全体会議と臨床化学担当の分科会を含め計5回開催し、実施計画及び配送準備、データ集計、解析を実施した。

本年度の実施項目は微生物検査に技師会が担当する一般菌の1菌種について感受性を実施し、新潟県保健環境科学研究所が担当する2菌種の同定を合わせて実施した。さらに本年度は日臨技精度保証施設認証制度を踏まえ血球計数検査を加えた。臨床化学は昨年同様27項目で今年度は参考調査項目としてMgを加えた。調査試料は今年度低濃度域に自家製人プール血清を用い、高濃度域には昨年同様市販管理試料を用いた。人プール血清では概ね反応性の問題は回避できたが、高濃度域は管理試料であるため、反応性の問題は避けて通れず、本年度もHDLコレステロール、LDLコレステロール、CKはメーカー参考値を用いて評価した。なお、ドライケミストリー法についても評価を行った。今年度臨床化学試料は冷凍配送を予定していたが、配送段階でドライアイスが溶けるなどの問題があり、各施設に届く段階で冷蔵検体になり多くの施設にご迷惑をおかけした。また梱包方法・搬送方法の問題から、HbA1cや血液の試料において多くの施設で検体が溶血してしまった。今後は配送を検討し、このような事のない様に対応したい。これらの事から融解による影響を検証した結果、サンプル1のLD、TG、GLUにおいてその可能性が示唆され、時系列変化を検討した結果3%程度の変動があったことから各項目、幅を広げ評価基準を設定した。血液サンプルにおいては再度試料を配送し、測定をお願いするなどしたが、試料が溶血した全施設に試料が再配送出来なかった事などを考慮し、有形成分のRBC・WBC・PLTは評価基準を設けずに評価せずHbのみの評価とした。評価精度管理委員会では検討会で質問があった事項や反応性の問題などについて、検討を加え検討会で報告を行い、調査のみではなく検査情報を提供している。

集計作業の迅速化、誤登録防止を目的に昨年度同様に臨床化学のみではなく、微生物調査についても調査結果報告用ファイルをWebよりダウンロードする方法を実施した。施設の事情に合わせて用紙での報告も受け付けたが、参加総施設数141施設のうち、Web利用136施設、用紙報告5施設であった。

精度管理調査事業の内容（実施要項）は以下のとおりである。

1) 臨床化学

測定日：平成23年10月31日（月）より施設に配布し、到着次第速やかに実施。

調査項目：ブドウ糖、中性脂肪、総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、ナトリウム（Na）、カリウム（K）、クロール（CL）、カルシウム、尿素窒素、クレアチニン、尿酸、AST（GOT）、ALT（GPT）、アルカリフォスファターゼ（ALP）、 γ -GT（ γ -GTP）、LD（LDH）、CK、アミラーゼ、コリンエステラーゼ（CHE）、HbA1cの21項目を評価対象として評価

調査項目：総蛋白、アルブミン、血清鉄、C反応性蛋白（CRP）、無機リン、総ビリルビン、Mgは測定のみとし評価は行なわず。

サンプル：以下の4種類

（臨床化学用）人プール血清サンプル1、人凍結管理試料2

（HbA1c用）MAP血サンプルA、

（ドライケミストリー用）人プール血清DRY I、II

報告締め切り：平成23年11月9日（水）必着。

2) 微生物検査

検査日：平成23年10月31日（月）より施設に配布し、到着次第速やかに実施。

検査項目：試料中の病原菌の同定（血清型別実施可能な施設は必要に応じて実施）

感受性検査

サンプル：同定検査 A, B, C の 3 種類。

感受性検査 C の 1 種類。

報告締め切り：平成23年11月11日（金）必着。

3) 血液検査

検査日：平成23年10月31日（月）より施設に配布し、到着次第速やかに実施。

検査項目：CBC 5 項目（ヘモグロビン、白血球数、血小板数、赤血球数、ヘマトクリット）

サンプル：市販管理血球 C の 1 種類

報告締め切り：平成23年11月9日（火）必着。

集計概略は総参加施設数141施設、臨床化学施設127施設（内 HbA1c は115施設）、微生物検査同定73施設、感受性検査57施設、血液検査138施設であった。

臨床化学検査については、データ集計後、平成24年1月5日（月）に施設別報告書を各施設に送付した。本年度も評価対象項目のすべてのサンプルにおいて評価を行ない、ドライケミストリー法も独自の評価基準で評価したが、使用施設数が5未満の測定方法については評価対象外とし、「A」は許容限界内、「B」は許容限界の2倍以内、「C」は許容限界の2倍超とした。

今年度も精度管理の意識向上を目的に施設名を公表する事とした。最終集計結果については新潟県臨床精度管理協議会において検討し臨床検査精度管理調査検討会（報告会）で報告した。参加施設には県知事名の参加証が交付された。

平成19年度より、日臨技データ標準化事業が始まり、本年度も基幹施設（新潟大学医歯学総合病院、県立がんセンター新潟病院、厚生連刈羽郡総合病院、新潟県労働衛生医学協会）での活動が順調に進行した。昨年より始まった日臨技精度保証施設認証制度は今年度の申請施設は3施設と少なかったが、新潟県精度保証施設認定委員会の審査を経て日臨技より認証された。

4. 生涯教育

マニュアルを基に各支部・各検査研究部門担当者から登録作業を行ってもらった。県担当理事との相互協力により概ね満足できる業務内容であった。

一部登録漏れなどのエラーが生じ会員に迷惑を被ったが、同様のことが生じないよう真摯に反省し本年度の課題としていく。

また、ボランティア活動や臨床検査の普及のための啓蒙活動などが活発に行われる中で、生涯教育行事登録を行い活動を支援した。

【広報部】

新臨技会誌、新臨技ニュースおよび新臨技ホームページの運営を通じて全会員にリアルタイムに情報の提供が出来るよう心がけてきた。新しい会誌表紙は、会員からの評判も良好であった。

新臨技ニュースは、理事会議事要旨、研修会案内および求人情報など新臨技の新しい情報をいち早く会員施設へ提供できた。一部、記載ミスが発生したが早急に確認体制を構築した。今後もこのようなことが再び起きないように努めたい。

新臨技ホームページは、会員への情報発信手段として定着してきており安定した運営であった。今後、レイアウトやリンクなどを工夫し会員への使いやすさを追求していきたい。

(1) 新臨技会誌

講義の内容は部門長を通じてすべての分野から投稿していただくように広報活動に力を入れてきた。〔研修会報告〕は参加会員の協力により引き続き掲載し、情報提供や新人会員の研鑽の頁とした。親睦広報に関して

は〔ペンリレー〕〔新入会員紹介〕〔検査技師として～私の思い出～〕などの掲載で会員相互の親睦をはかり、だれでも参加できる企画にした。その他、公益活動の内容を紹介し、多くの会員に参加していただくため、〔公益活動報告〕を掲載した。年4回 季刊発行（279号から282号まで）

<平成23年度会誌掲載内容>

第279号 平成23年4月1日

〔講義〕血液分野における実践的知識……………水野 祐子

〔弔辞〕上田春男さんを偲んで……………富田 弘子

山下智さんを偲んで……………名古屋 洋

〔学会参加報告〕

第86回新潟県臨床検査学会……………若林 星華

〔研修会参加報告〕

輸血・移植検査部門研修会……………山田 将也

東北臨床検査技師会生物化学分析部門・遺伝子染色体分野研修会……………星山 良樹

輸血・移植検査部門研修会……………向山 千恵

感染制御部門疫学・公衆衛生分野研修会……………木村 有紀

〔公益事業参加報告〕

新潟市健康福祉祭りに参加して……………宮路 渚

〔認定技師精度紹介〕

認定臨床微生物検査技師を受験して……………青木 寿成

〔ペンリレー〕……………高橋 真帆

〔検査技師として～私の思い出～〕

検査技師として～私の思い出……………橋本めぐみ

検査技師として～私の思い出……………大木 翔平

〔会報〕平成22年度（社）新潟県臨床検査技師会 第2回通常総会議案書

平成22年度（社）新潟県臨床検査技師会 第2回通常総会議事録

平成23年度（社）新潟県臨床検査技師会 第1回通常総会議案書

12月常任理事会議事録

第5回理事会議事録

2月常任理事会議事録

第6回理事会議事録

新入会員紹介

会員消息

新臨技日誌

〔おしらせ〕

シンボルマークおよび会誌表紙デザインの採用品決定のお知らせ

「施設紹介」原稿募集のお知らせ

〔行事予定〕

第280号 平成23年7月1日

〔あいさつ〕平成23年度にあたり……………松田 和博

〔講義〕HER2検査－胃癌への導入に向けて……………棟近 永子

〔認定技師精度紹介〕

認定血液検査技師を受験して……………丸山 直子
NST 専門療法士について……………高野 淳子

〔ペンリレー〕……………千味 和宏

〔検査技師として～私の思い出～〕

持ち続けていきたいもの……………鈴木 秀幸
検査技師として～私の思い出～……………大倉 千秋

〔会 報〕 東日本大震災 義援金募集

平成23年度（社）新潟県臨床検査技師会 第1回通常総会議事録
平成22年度監査報告（平成22年度第2回通常総会委任状記載）
会員からの意見・要望
4月常任理事会議事録
平成23・24年度理事紹介
新入会員紹介
会員消息
新臨技日誌

〔案 内〕 第87回新潟県臨床検査学会案内（予告）・演題申込要領

シンボルマークおよび会誌表紙デザインの採用品決定のお知らせ
「施設紹介」原稿募集のお知らせ

〔行事予定〕

第281号 平成23年10月1日

〔講 義〕 イエロブック改正に伴い 認定技師への道……………横山 貴

〔案 内〕 第87回新潟県臨床検査学会

〔研 究〕 第87回新潟県臨床検査学会抄録

〔認定技師精度紹介〕

認定輸血検査技師を受験して……………山崎 健

〔受賞者のことば〕

篠川至賞を受賞して……………山口 勇司
篠川至賞を受賞して……………高橋 英行
生涯教育新人賞を受賞して……………佐藤 卓
会誌デザイン賞を受賞して……………清野真紀子
臨技シンボルマーク賞を受賞して……………川崎津矢子

〔公益事業参加報告〕

～パパの健康チェック～に参加して……………石平 悠

〔研修会参加報告〕

形態検査部門血液分野研修会……………近藤 麻菜
形態部門一般検査研修会……………西江 良介
新潟病理技術研究会・形態検査部門病理分野共催研修会……………林 真也
輸血・移植検査分野研修会……………渡邊 誠
輸血・移植検査部門輸血実技講習会……………小林 健太
第5回臨床検査セミナーに参加して……………宮路 渚

〔ペンリレー〕稲田 利絵
〔検査技師として～私の思い出～〕

検査技師として～私の思い出～.....三原かおり
検査技師として～私の思い出～.....小山 知世
検査技師として～私の思い出～.....斉藤 利佳

〔会 報〕 第1回理事会議事録
7月常任理事会議事録
新入会員紹介
会員消息
新臨技日誌

〔行事予定〕

第282号 平成24年1月1日

〔あいさつ〕 新年のごあいさつ.....松田 会長

〔講 義〕「脳神経疾患の診断に必須な組織染色」新潟大学脳研究所教授柿田 明美
「SNP解析方法の原理と実用例, 全自動SNPs検査装置」本間 雅史

〔受賞のことは〕

第52回東北医学検査学会功労賞を受賞して.....小田辺なおこ
.....伊藤 耐子

〔研修会参加報告〕

下越支部研修会に参加して.....早福 智恵
輸血・移植検査部門 輸血検査実技講習会(基礎コース).....石平 悠
中越支部ふれあい研修会.....田中 香織
形態検査部門血液分野 実技研修会.....中原 寿子
第87回新潟県臨床検査学会.....高野 美菜
.....古谷江梨子
.....菊田つかさ
.....長谷川好江

〔公益活動参加報告〕

すこやかともしびまつりに参加して.....高橋 英花
ピンクリボンホリデーに参加して.....椎谷 恵子
糖尿病を知るつどい.....小林 浩二

〔認定技師精度紹介〕 認定心電検査技師について.....松雪 咲身

〔ペンリレー〕飯浜 綾子

〔検査技師として～私の思い出～〕

検査技師として～私の思い出～.....河野 良平
検査技師として～私の思い出～.....中村 岳史

〔会 報〕 第2回理事会議事録
第3回理事会議事録
新入会員紹介
会員消息
技師会日誌

〔行事予定〕

(2) 新臨技ニュース

理事会議事要旨の掲載を中心に、組織活動、研修会案内、求人情報など速報性のある内容を順次掲載してきた。発行は理事会終了後の月1回とし、掲載情報の正確性を保つため努力してきた。

(3) 新臨技ホームページ

新臨技ホームページは案内・各支部活動・各研究班活動の内容がリアルタイムに閲覧でき好評である。事務局との連携を密にしたことにより会員への情報提供がより迅速となった。特に、学術研究会や支部研修会の予定を掲載することにより県内会員への情報の共有化に努めた。

【主要行動報告】

1. MTJ取材に松田会長、坂西理事が対応（4月5日）
2. 新潟医療技術専門学校入学式へ松田会長出席（4月7日）
3. 北里大学保健衛生専門学院入学式へ吉原副会長出席（4月7日）
4. 4月常任理事会（4月9日）
5. 表彰委員会（4月15日）
6. 篠川至賞選考委員会（4月22日）
7. 平成22年度事業会計監査（5月10日）
8. セミナー・総会等備品作業に堀川事務局長、小柳次長出務（5月13日）
9. 第5回臨床検査セミナー・第1回通常総会（5月14日）
10. 学術部会議（5月28日）
11. 臨時東臨技会長会議（宮城県）へ松田会長出席（5月29日）
12. 日本医学検査学会、東日本大震災緊急セミナーで坂西理事発表（6月5日）
13. 第1回理事会（6月11日）
14. 第1回新潟栄養・食生活学会役員会へ吉原副会長出席（6月20日）
15. 第1回標準化委員会、第2回精度管理委員会（6月22日）
16. 新潟県健康づくり財団評議委員会へ松田会長出席（6月29日）
17. 東北地区技師会学術会議へ高野理事、大谷内、菅原部門長出席（7月1日）
18. 細胞検査士会総会へ松田会長出席（7月2日）
19. 第1回会誌編集委員会（7月7日）
20. 7月常任理事会（7月9日）
21. 第1回ホームページ委員会（7月9日）
22. 県へ事業状況報告、理事登記依頼（7月14日）
23. 県・新潟市合同精度管理専門委員会へ松田会長出席（7月26日）
24. 新潟県がん検診研究会理事会へ松田会長出席（8月1日）
25. 新潟県精度管理協議会へ松田会長、坂西理事出席（8月10日）
26. 新潟県糖尿病検診研究会へ松田会長出席（8月24日）
27. 新潟県糖尿病対策推進会議へ松田会長、堀川副会長出席（8月24日）
28. 新潟県理学療法士会40周年記念式典へ堀川副会長出席（9月3日）
29. 新潟県がん検診研究会運営委員会へ松田会長出席（9月5日）
30. はっぴー乳ライフ実行委員会へ松田会長、田澤理事出席（9月6日）
31. 新潟県臨床検査センター協議会へ松田会長出席（9月10日）

32. 第2回県理事会（9月10日）
33. 全国会長会議（東京都）へ松田会長出席（9月11日）
34. 対がん協会新潟県大会へ松田会長出席（9月15日）
35. 災害支援ネットワークの第1回リハーサル（9月17日）
36. 第1回東北代表者会議（山形県）へ松田会長、渡辺副会長出席（10月14日）
37. 第52回東北地区医学検査学会（10月15・16日）
38. 県学会の備品準備作業に堀川副会長、小柳事務局長、味方理事、佐藤理事が出務（10月21日）
39. 第87回新潟県臨床検査学会、第3回県理事会（10月23日）
40. 新潟県の衛生検査所立会検査（長岡市）に松田会長同行（10月27日）
41. コメディカル懇談会へ松田会長、堀川副会長、小柳事務局長が参加（11月10日）
42. 日臨技創立60周年記念式典へ松田会長、吉原副会長が出席（11月11日）
43. 日臨技臨時総会へ松田会長、吉原副会長が出席（11月12日）
44. 新潟県がん検診研究会へ松田会長出席（11月22日）
45. 東北事務局長会議（秋田県）へ小柳事務局長が出席（11月25日）
46. 新潟県糖尿病検診研究会へ松田会長出席（11月29日）
47. 新潟県の衛生検査所立会検査（長岡市）に松田会長同行（11月30日）
48. 加茂谷技師（立川総合病院）のお通夜に吉原副会長が参列（12月10日）
49. 第4回県理事会（12月10日）
50. ハッピー乳ライフ実行委員会へ松田会長出席（12月21日）
51. 新潟県精度保障施設認証委員会（12月28日）
52. 故山際仁技師のお通夜に松田会長、吉原副会長が参列（1月10日）
53. 関係団体へ三役新年あいさつ廻り（1月13日）
54. 1月常任理事会（1月21日）
55. 第2回全国学会WG会議（1月21日）
56. 宮島喜文長野県会長と松田会長、坂西理事が面談（1月23日）
57. 新潟県・新潟市合同精度管理専門委員会へ松田会長出席（1月26日）
58. 新潟県臨床検査精度管理協議会へ松田会長、坂西理事が出席（1月27日）
59. 日臨技北日本支部幹事会（宮城県）へ松田会長出席（2月11日）
60. 第5回県理事会（2月10日）
61. 東北地区第2回代表者会議（福島県）へ松田会長、渡辺副会長出席（2月24日）
62. 上越支部総会へ渡辺副会長出席（2月25日）
63. 新潟支部総会へ堀川副会長出席（2月25日）
64. 下越支部総会へ松田会長出席（2月25日）
65. 新潟県生活習慣病検診循環器部会へ松田会長出席（3月5日）
66. 新潟県医療技術専門学校卒業式へ松田会長が出席（3月9日）
67. 第2回通常総会、第6回理事会（3月10日）
68. 新潟県臨床検査センター協議会へ松田会長出席（3月17日）
69. 佐渡支部総会へ堀川副会長出席（3月17日）
70. 北里大学保健衛生専門学院卒業式典へ坂西理事出席（3月21日）
71. 新潟大学医学部保健学科卒業式典へ松田会長出席（3月23日）
72. 日臨技代議員会（東京都）へ松田会長、堀川副会長出席（3月24日）
73. （公財）新潟県健康づくり財団評議員会へ松田会長出席（3月27日）

平成23年度収支決算報告

平成23年度収支決算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

収入の部

大科目	中科目	小科目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
会費収入			8,070,000	8,043,000	27,000	
	正会員会費		6,710,000	6,743,000	△ 33,000	1,226名
	賛助会員会費		1,360,000	1,300,000	60,000	65社
事業収入			4,650,000	5,917,550	△ 1,267,550	
	参加費収入		850,000	2,801,600	△ 1,951,600	県学会, セミナー, 研究部門
	会誌広告収入		1,100,000	1,140,000	△ 40,000	会誌15社, 名簿14社
	助成金収入		2,700,000	1,975,950	724,050	日臨技, 県医師会
雑収入			2,205,000	956,094	1,248,906	
	預金利息収入		5,000	51,094	△ 46,094	定期満期利息
	雑収入		2,200,000	905,000	1,295,000	学会協賛金
当期収入合計	A		14,925,000	14,916,644	8,356	
前期繰越収支差額			1,000,000	2,475,733	△ 1,475,733	
収入合計	B		15,925,000	17,392,377	△ 1,467,377	

支出の部

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	備考
事業費			10,450,000	10,369,715	80,285	
	学術研究費		3,990,000	5,524,891	△ 1,534,891	
		学 会 費	1,000,000	929,246	70,754	第87回県学会
		学術部活動費	1,900,000	3,875,432	△ 1,975,432	検査研究部門活動費
		精度保障事業費	640,000	304,870	335,130	新潟県精度管理事業
		負 担 金	350,000	340,325	9,675	東北技師会負担金
		雑 費	100,000	75,018	24,982	源泉徴収税
	総会費		1,250,000	725,768	524,232	
		準 備 費	250,000	188,274	61,726	賞状、筒
		運 営 費	1,000,000	537,494	462,506	セミナー費用、会場費
	広報費		3,010,000	2,509,073	500,927	
		会誌発行費	2,510,000	2,207,057	302,943	会誌発行4号、名簿
		広報編集費	500,000	302,016	197,984	編集委員会
	組織強化費		2,200,000	1,609,983	590,017	
		支部強化費	800,000	649,361	150,639	各支部助成金、バーコードスキャナ
		組織広報費	600,000	294,992	305,008	公益事業活動
		災害対策費	800,000	665,630	134,370	災害用備品
管理費			4,910,000	4,184,417	725,583	
	事務費		2,400,000	2,128,270	271,730	
		備 品 費	200,000	20,661	179,339	プリンタ修理
		消 耗 品 費	100,000	86,818	13,182	文房具等
		印 刷 費	300,000	395,709	△ 95,709	封筒、コピー代
		通 信 費	500,000	473,075	26,925	案内発送
		交 通 費	400,000	232,370	167,630	日臨技、東北会議
		渉外対策費	300,000	292,097	7,903	関連団体、支部対策費
		報 酬 費	600,000	627,540	△ 27,540	事務職員報酬等
	会議費	旅 費	600,000	646,020	△ 46,020	理事会等旅費
	事務所費		1,730,000	1,298,872	431,128	
		維持管理費	1,600,000	1,188,422	411,578	賃貸料
		電 話 費	100,000	108,407	△ 8,407	電話、電報、プロバイダー
		事務所雑費	30,000	2,043	27,957	事務所備品
	雑費		180,000	111,255	68,745	
		交 際 費	150,000	111,255	38,745	関連団体慶弔費
		雑 費	30,000	0	30,000	
特定預金支出			300,000	501,432	△ 201,432	
		会館建設引当預金支出	0	1,432	△ 1,432	会館引当金利息
		学会引当預金支出	300,000	500,000	△ 200,000	北日本支部学会積立
予備費			265,000	217,000	48,000	注
	当期支出合計	C	15,925,000	15,272,564	652,436	
	当期収支差額	A - C	△ 1,000,000	△ 355,920	△ 644,080	
	次期繰越収支差額	B - C	0	2,119,813	△ 2,119,813	

注：予備費217,000円は福島県から避難していた住民の検診旅費に拠出充当した額である。

総合財産目録

平成24年3月31日現在

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	799,840		
普通預金			
第四銀行臨港支店	1,134,545		
ゆうちょ銀行	185,428		
流動資産合計		2,119,813	
2. 固定資産			
会館建設引当預金			
第四銀行臨港支店（定期）	10,000,000		
北越銀行県庁支店（定期）	4,095,108		
ゆうちょ銀行（定額4口）	5,268,000		
篠川至賞引当預金			
ゆうちょ銀行（定額3口）	6,101,000		
共済基金			
ゆうちょ銀行（定額3口）	1,724,000		
学会引当預金			
ゆうちょ銀行（定額2口）	2,000,000		
北越銀行県庁支店（定期）	500,000		
固定資産合計		29,688,108	
資産合計			31,807,921
II. 負債の部			
1. 流動負債		0	
2. 固定負債		0	
負債合計			0
正味財産			31,807,921

1. 正味財産増減計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

科 目	金 額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額			
会館建設引当預金	1,432		
学会引当預金	500,000		
資産増加額合計		501,432	
2. 負債減少額		0	
増加額合計			501,432
II. 減少の部			
1. 資産減少額			
当期収支差額	355,920		
篠川至賞引当預金 （受賞盾20個作成費用として充当）	1,700,000		
学会引当金預金 （全国学会会計へ繰り入れ）	2,500,000		
2. 負債増加額		0	
減少額合計			4,555,920
当期正味財産増加額			△ 4,054,488
前期繰越正味財産額			35,862,409
期末正味財産合計額			31,807,921

2. 貸借対照表 平成24年3月31日現在

科 目	金 額	
I, 資産の部		
1, 流動資産		
現金預金	2,119,813	
流 動 資 産 合 計		2,119,813
2, 固定資産		
会館建設引当預金	19,363,108	
篠川至賞引当預金	6,101,000	
共済基金	1,724,000	
学会引当預金	2,500,000	
固 定 資 産 合 計		29,688,108
資 産 合 計		31,807,921
II, 負債の部		
1, 流動負債		0
2, 固定負債		0
負 債 合 計		0
III, 正味財産の部		
正味財産		31,807,921
(うち当期正味財産増加額)		(△4,054,488)
負債及び正味財産合計		31,807,921

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

- ① 資産の評価基準及び評価方法について
 - ・ 棚卸資産は、最終仕入原価法による原価法。
 - ・ 投資有価証券は、異動平均法による原価法。
 - ② 固定資産の減価償却について
 - ・ 有形固定資産の減価償却は定率法により行う。
 - ③ 引当金の計上基準について
 - ・ 貸倒引当金、賞与引当金は、法人税法の規定に基づく繰入限度相当額を計上する。
 - ・ 退職給与引当金は、役員及び職員の退職金支給に備え、退職金期末要支給額を計上する。
 - ④ 資金の範囲について
 - ・ 資金の範囲には、現金預金、未収金、未収会費、仮払金、未払金、仮受金を含めている。
 なお、前期末及び当期末残高は下記4のとおりである。
- 2 基本財産は所有していない。
 - 3 有形固定資産は所有していない。
 - 4 未収金等及び未払金等は発生していない。
 - 5 担保に供している資産並びに支払を保証している債務はない。
 - 6 表示の金額は、円単位で表示している。

【支部研究会等】

上越支部

<研修会等>

- 1) 秋季研修会：第97回上越支部研修会（生涯教育 基礎20点）

日時 平成23年9月17日（土） 13：30～16：30

場所 上越市民プラザ

内容 市民公開講座

『放射線と安全管理』

講師（NPO）放射線安全フォーラム理事長 加藤 和明 先生

教育講演

『採血業務における基礎的な注意点』

講師 積水メディカル株式会社 須長 宏行 先生

参加者 31名（会員27名 非会員4名）

- 2) 春季研修会：第98回上越支部研修会及び総会（生涯教育 基礎30点、専門20点）

日時 平成24年2月25日（土） 13：30～17：00

場所 高揚壮

内容 教育講演

『糖尿病にかかわる検査について』

アークレイマーケティング株式会社 本間 雅史 先生

『職場内コミュニケーションの向上と個人の成長』

オーソクリニカルダイアグノステックス株式会社 椎葉 良洋 先生

参加者 研修会（会員42名） 総会（会員35名）

<理事会>

研修会の打ち合わせ等で11回開催した。

第1回 4月20日

第2回 5月18日

第3回 6月15日

第4回 7月20日

第5回 8月17日

第6回 9月14日

第7回 10月26日

第8回 11月30日

第9回 12月14日

第10回 1月23日

第11回 2月15日

中越支部

- 1) 平成23年度中越支部講演会 [生涯教育認定 基礎20 参加36名]

平成23年3月5日（土） 14：00～15：30立川メディカルセンター多目的施設きぼう講堂3F

講演 「豊かな人間関係づくりをめざして」

講師 新潟県健康開発財団 常任理事 大西 金吾 先生

- 2) 平成23年度中越支部通常総会 [生涯教育 基礎30 参加36名]

- 平成23年3月5日(土) 15:45~16:30 立川メディカルセンター多目的施設きぼう講堂3F
 議長 高橋 正和 技師(立川総合病院)
 議事 ①平成22年度事業・決算・監査報告
 ②平成23年度事業計画・予算案提案
- 3) パパの健康チェック [生涯教育 基礎20 参加ボランティア技師13名]
 平成23年6月19日(日) 11:00~16:00 リバーサイド千秋
 主催:ヘルシープラン21実行委員会・長岡市福祉保健部健康課
 会場来場者に血糖及びCO測定・・・各230名
- 4) 中越グラム染色研究会 [生涯教育 専門30 参加者24名]
 平成23年6月25日(土) 長岡赤十字病院 第1会議室
 講義Ⅰ「グラム染色ハンドブックの紹介」
 講師: 和光純薬工業株式会社 中尾 法郎 先生
 講義Ⅱ「抗菌薬の基礎」
 講師: 長岡赤十字病院 薬剤部 小林 謙一 先生
- 5) 中越支部フォーラム [生涯教育 基礎20 参加26名]
 平成23年7月2日(土) 14:00~16:30 立川メディカルセンター多目的施設きぼう講堂3F
 メインテーマ “臨床検査を取り巻く環境”
 講演Ⅰ『災害対策の実践』
 講師 厚生連村上総合病院 検査科 中川 友也 先生
 厚生連佐渡総合病院 検査科 手塚 宗昭 先生
 厚生連魚沼病院 検査科 坂西 清 先生
 講演Ⅱ『パネルディスカッション』
 講演Ⅰの講師より
- 6) “すこやかともしびまつり 2011” [生涯教育 基礎20 参加ボランティア技師 13名]
 平成23年10月1日(土)・2日(日) ハイブ長岡 一般市民来場者 約15,300人
 主催:長岡市
 肺の組織標本観察 50名 肺年齢測定 375名
- 7) 糖尿病を知るつどい [生涯教育 基礎20 参加ボランティア技師 5名]
 平成23年10月1日(土) 12:30~16:30 長岡リリックホール
 主催:長岡市医師会
 協賛:長岡市, 薬剤師会, 栄養士会, 看護協会, 臨床検査技師会, 他
 内容:来場者 215名
 一般参加者の血糖値を測定・・・184名
- 8) ふれあい研修会 [生涯教育 基礎20 参加者66名]
 平成23年10月30日(土) 長岡赤十字病院 第1会議室
 テーマⅠ:「緊急検査」
 i. 生化学検査
 講師:厚生連魚沼病院 検査科 坂西 清 先生
 ii. 細菌検査
 講師:厚生連長岡中央総合病院 検査科 安藤 昭子 先生
 iii. 一般検査
 講師:済生会新潟第二病院 検査科 小野 篤史 先生

iv. 輸血検査

講師：新潟県立新発田病院 検査科 高橋 一哲 先生

テーマⅡ：「緊急セミナー：東日本大震災」

講師：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 福島工場 青田 貞和工場長

テーマⅢ：「医師・看護師の望む臨床検査技師，緊急検査」

i. 看護師の立場から

講師：厚生連刈羽郡総合病院 看護部 岡田 美香 先生

ii. 医師の立場から

講師：長岡赤十字病院 救命救急センター 江部 克也 先生

9) 腹部エコー ブラッシュアップセミナー [生涯教育 専門20 参加者41名]

平成23年11月12日(土) まちなかキャンパス長岡 フェニックス大手イースト 4F

講義：「超音波検査が上手になりたい，だから私はこうしている」

講師：総合病院国保旭中央病院 中央検査部 関根 智紀 先生

<平成23年度会議録>

第1回理事会	平成23年4月21日(木)	18:30～	立川 MC 会館	4 F
第2回理事会	平成23年5月19日(木)	18:30～	立川 MC 会館	4 F
第3回理事会	平成23年6月23日(木)	18:30～	立川 MC 会館	4 F
第4回理事会	平成23年7月21日(木)	18:30～	立川総合病院	4 F 会議室
第5回理事会	平成23年8月25日(木)	18:30～	立川総合病院	4 F 会議室
第6回理事会	平成23年10月20日(木)	18:30～	立川 MC 会館	4 F
第7回理事会	平成24年1月14日(土)	15:00～	立川 MC 会館	4 F
三役会議	平成24年3月1日(木)	18:30～	立川 MC 会館	4 F

下越支部

<研修会等>

(1) 第1回支部研修会

日時：平成23年7月23日(土) 14:00～17:00

場所：下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内容：「食品の安全と食中毒の予防について」

「病院における感染対策について」

参加者：27名(会員25名，非会員2名) 生涯教育認定 専門20点

(2) 第2回支部研修会

日時：平成23年12月3日(土) 14:00～17:00

場所：下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内容：「ウイルス性肝炎」

「HIV 感染症 - 最近の話題 -」

参加者：29名(会員20名，非会員9名) 生涯教育認定 専門20点

(3) 第3回支部研修会および総会

日時：平成24年2月25日(土) 14:00～17:00

場所：下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内容：「耐性菌と感染管理」

「新発田病院における MDRP 院内感染の対応について」

参加者：42名（会員42名，非会員 名） 生涯教育認定 専門20点
基礎30点

<理事会>

今年度は，支部研修会打合せ等で5回開催した。

- 第1回：5月26日
- 第2回：7月8日
- 第3回：9月16日
- 第4回：11月18日
- 第5回：1月20日

<ホームページ>

今年度は研修会予告・参加報告，理事会議事録掲載などで更新した。

佐渡支部

学術活動

1) 研修会（専門-20）20名参加

日時 平成23年7月23日（土） 14：00～（受付13：30～）

会場 相川ファミリーオ

内容 「日当直時に必要な感染症の知識」

「HTLV について」

講師 アボットジャパン株式会社 学術情報部 中島俊彦 先生

座長 佐渡総合病院 宮崎勝吉

2) 講演会（専門-20）19名参加

日時 平成24年2月28日（火） 18：30～（受付18：15～）

会場 佐渡総合病院 講堂

内容 「HbA1c 国際標準化（NGSP 値）の動向とグリコアルブミン（GA）の活用法について」

講師 積水メディカル(株) 学術東日本グループ 市原文雄 先生

座長 佐渡総合病院 宮崎勝吉

3) 講演会（専門-20）24名参加

日時 平成24年3月17日（土）

会場 佐渡総合病院 講堂

内容 1. 「LDL-C 直接法を取り巻く最近の状況」

講師 積水メディカル(株) 学術東日本グループ 市原文雄 先生

座長 佐渡総合病院 宮崎勝吉

組織活動

1) 平成23年7月23日（土）研修会後懇親会（バーベキュー）「ファミリーオ相川」

参加人数22名 宿泊9名

2) 平成24年3月17日（土）佐渡支部総会後情報交換会 「入海」

参加人数19名 宿泊7名

佐渡支部役員会

- 1) 平成23年6月2日（木）
- 2) 平成23年7月23日（木）
- 3) 平成23年9月30日（金）

4) 平成24年2月7日(火) 計4回開催

新潟支部

平成23年度 新潟支部一般経過報告

【平成23年度新潟支部第2回研修会】

分野 輸血 参加人数：60名

日時 平成23年3月19日 14：00～16：00

演題 ①「ベーシック輸血」

発表者 笠井恵美子 新潟県厚連佐渡総合病院

②「輸血発注時の注意点と新潟県内の状況」

瀬下 敏 新潟県赤十字血液センター

【平成23年度新潟支部総会】

分野 総会 参加人数：40名

【HbA1c 認知向上運動2011】

分野：公益活動 参加人数：10名

日時：平成23年5月29日 10：00～16：00

【第31回一般検査研修会】

分野：一般 参加人数：35名

日時：平成23年6月9日 18：00～20：50

演題：①スライドカンファレンス

発表者 白川千恵子 / 新潟医療技術専門学校

②精液検査について：初心者も認定試験対策も

大橋 浩栄 / 荒川大桃エンゼルマザークリニック

【第33回新潟病理技術研究会】

分野：病理 参加人数：28名

日時：平成23年7月2日 14：00～17：30

演題：①新潟大学脳研究所標本作製室見学

発表者 丹田智恵子 / 新潟大学脳研究所

②薄切紹介

樋口 忠博 / 新潟市民病院

③薄切紹介

丹田智恵子 / 新潟大学脳研究所

④実技実践講座－パラフィン標本作成時のしわ防止法

平田 誠一 / 新潟脳外科病院

⑤脳神経疾患の診断に必要な組織染色

柿田明美 / 新潟大学脳研究所

【第55回新潟支部血液研究会】

分野：血液 参加人数：22名

日時：平成23年7月14日 19：00～20：00

演題：血液検査システム構築と臨床との情報共有

発表者 小南真由美 / 新潟市民病院

【第121回新潟支部微生物研究会】

分野：微生物 参加人数：19名

日時：平成23年9月8日 18：30～20：30

演題：①カテーテル関連血流感染-病棟での対応

発表者 渡部信栄 / 新潟市民病院

②当院における Haemophilus aphrophilus の一例

千味和宏 / 済生会新潟第二病院

【第30回関東甲信越糖尿病セミナーin にいがた】

分野：公益活動 参加人数：10名

日時：平成23年11月6日 8：00～16：00

【第122回新潟支部微生物研究会】

分野：微生物 参加人数：19名

日時：平成24年1月12日 18：30～20：30

演題：当院で経験した類鼻疽の一例

発表者 小野篤史 / 済生会新潟第二病院

【第32回一般検査研修会】

分野：一般 参加人数：12名

日時：平成24年2月2日 18：00～20：30

演題：①症例提示1

発表者 伊藤太地子 / 新潟南病院

②症例提示2

西江良介 / 済生会新潟第二病院

③寄生虫検査の実際について

齊藤功英 / 財団法人新潟県保健衛生センター

2. 総会及び幹事会

1) 支部定期総会, 第1回支部幹事会

平成23年3月19日(土) 新潟大学医歯学総合病院大会議室

2) 第2回支部幹事会

平成23年3月29日(火) 新潟県臨床検査技師会事務所

3) 第3回支部幹事会

平成23年4月27日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所

4) 第4回支部幹事会

平成23年5月18日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所

5) 第5回支部幹事会

平成23年6月15日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所

6) 第6回支部幹事会

平成23年7月20日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所

7) 第7回支部幹事会

平成23年8月17日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所

8) 第8回支部幹事会

平成23年9月21日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所

9) 第9回支部幹事会

平成23年10月19日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所

- 10) 第10回支部幹事会
平成23年11月16日（水） 新潟県臨床検査技師会事務所
- 11) 第11回支部幹事会
平成23年12月21日（水） 新潟県臨床検査技師会事務所
- 12) 第12回支部幹事会
平成24年 1 月18日（水） 新潟県臨床検査技師会事務所
- 13) 第13回支部幹事会
平成24年 2 月15日（水） 新潟県臨床検査技師会事務所